

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分ご説明ください。

### 安全のため必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

**△注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

**△注意**

(1) 湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

(2) 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。  
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

### 使用条件

#### 1. 使用水圧

- (1) 瞬間型給湯機と組合わせる場合
- 給水圧力 { 最低必要水圧…(下表参照)  
最高圧力……………0.75MPa

#### 器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

| 給湯機タイプと号数            | 最低必要水圧  |          |      |
|----------------------|---|----------|------|
| 能力手動切替タイプ            | 12号   | A+0.31   |      |
| TOTO<br>カスタム<br>制御方式 | 10号   | 0.09     |      |
|                      | 16号   | 0.07     |      |
|                      | 20号   | 0.08     |      |
| 比例<br>制御<br>タイプ      | TOTO<br>トリコン<br>制御方式<br>(トリコン<br>・コンタクト<br>・アクティ) | 16号      | 0.06 |
|                      |   | 20号      |      |
|                      |   | 24号      |      |
|                      |   | アクティ     | 0.05 |
|                      |   | スーパーアクティ |      |
|                      | 32号   | 0.06     |      |
| TOTO ハイトリコン<br>制御方式  | 21号   | 0.05     |      |
|                      | 24号   |          |      |
| TOTO<br>コマンド         | 16号   | 0.07     |      |
|                      | 24号   |          |      |
| TOTO<br>ハイコマンド       | 21号   | 0.05     |      |
|                      | 24号   |          |      |

#### 〈設定条件〉

- ・レバーハンドルは全開
- ・吐水温度：38℃
- ・給湯配管長さ：5m
- ・給湯機が着火する下限の圧力とする。
- ・水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定。
- ・能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定。
- ・比例制御タイプの出湯温度：60℃

注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。

(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

\*能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

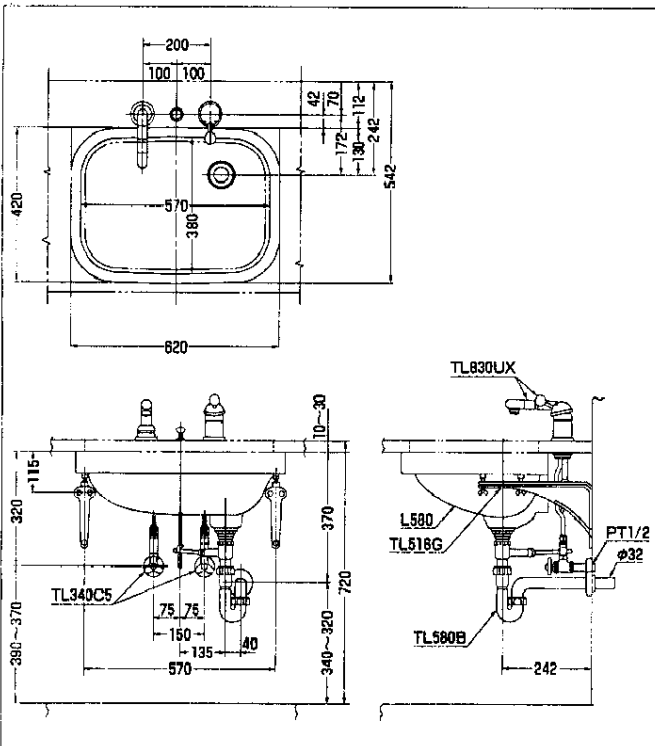
#### (2) 貯湯式温水器と組合わせる場合

- 給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05 MPa  
最高圧力……………0.75MPa

(3) 給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 湯・水を逆配管しないでください。  
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

### 完 成 図



\*品番によっては、図と製品の形状が一部異なることがあります。

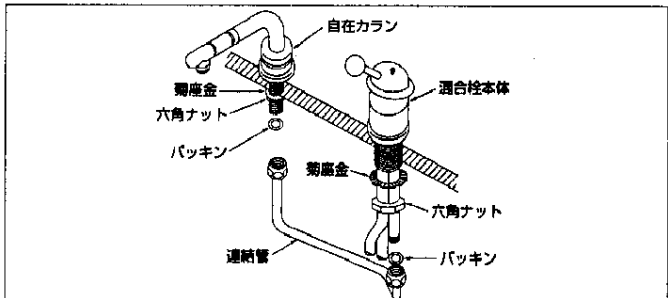
### 器具の取付け

#### 1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

#### 2. 混合栓本体及び自在カランの仮固定

- 混合栓本体及び自在カランに貼り付けているラベル「後側」が必ず壁側になるようにして脚の固定ナットを軽く仮締めしてください。
- 連結管にて混合栓本体と自在カランを仮接続してください。



#### 3. 混合栓本体の取付け

- 混合栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取出位置に合うように曲げ広げてください。このとき、できるだけ直管部が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプがつぶれないように注意してください。

## 寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを付けておきます。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きしておいてください。またお客様にも水抜方法をご説明ください。

<水抜手順>

- (1) レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げる。
- (2) 水抜コックを開く。

※水抜き後は必ず水抜コックを強く締めてください。

## お 手 入 れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

1. 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは絶対に使用しないでください。
  - ・ TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤
  - ・ シンナー、ベンジンなどの溶剤
  - ・ TOTO水あかクリーナー以外のクレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
  - ・ ナイロンたわし、ブラシなど
 もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。
2. 水栓の表面や樹脂部に付着した水あかなどの汚れ落としにTOTO水あかクリーナーのご使用をお勧めします。
 

TOTO水あかクリーナーは水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去します。お求めはお近くのTOTOショールームもしくはTOTOパーツセンターにお尋ねください。
3. 軽い汚れの場合は水またはぬるま湯に濡した布をよく絞って、汚れをふき取ってください。ひどい汚れの場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取った後、水洗いし、からぶきしてください。

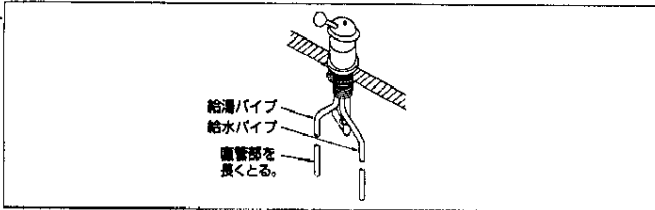
## 分 解 と 点 検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

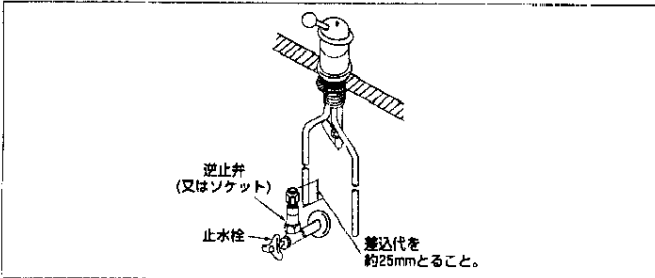
ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを相立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

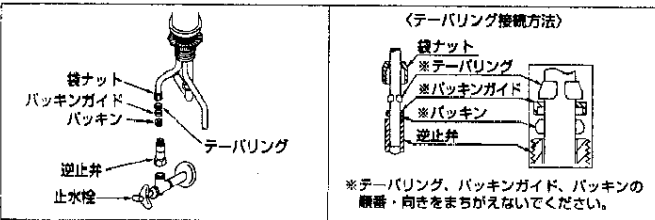
| 現象                      | 点検箇所 |
|-------------------------|------|
| 吐水量が少ない                 | 1・2  |
| 水が止まらない<br>ハンドル部から水が漏れる | 3・4  |
| 吐水温度不良                  | 1・2  |
| ハンドルがガタつく               | 5    |



- (2) 逆止弁（寒冷地用の場合はソケット）を止水栓に仮固定した後、給水・給湯パイプの必要長さをあたり、切断してください。このとき、パイプの差込代は約25mm確保してください。



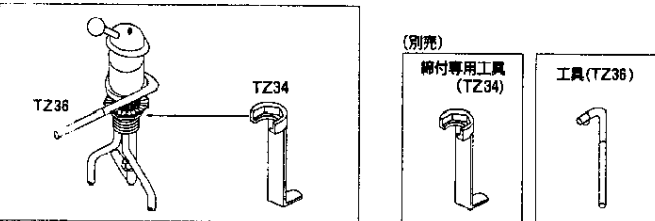
- (3) 給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れて、逆止弁（又はソケット）を差し込んでください。次に逆止弁（又はソケット）を止水栓にねじ込んでください。



### 4. 混合栓本体及び自在カランの本固定

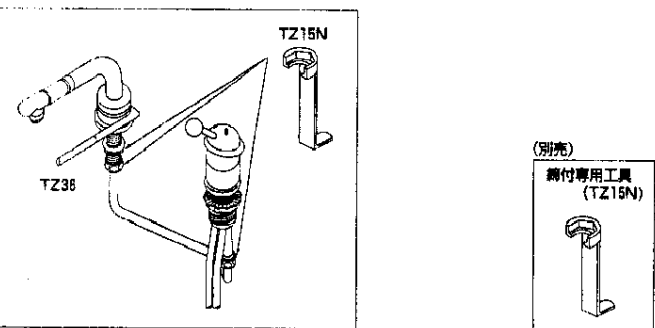
※混合栓本体及び自在カランを固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり、セパレート紙をはがしてください。

- (1) 混合栓本体を別売のナット締付専用工具（TZ34、TZ36）を利用して確実に固定してください。

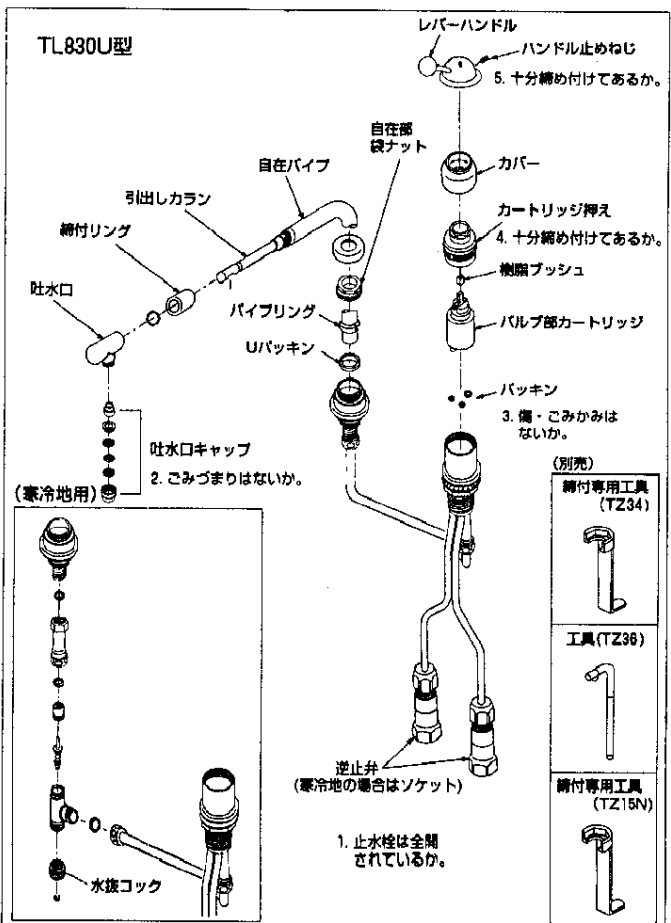


- (2) 給水・給湯パイプを逆止弁（又はソケット）に押しつけ、手締後1回転以上締め付けてください。

- (3) 最後に別売のナット締付専用工具（TZ15N、TZ36）を利用して自在カランを確実に固定し、さらに連結管の袋ナットを十分に締め付けてください。



(注) 給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないよう確実に固定してください。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

手直しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。